

特集

平成26年度決算状況

財政課 回(32)6212



平成26年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。今後も更なる財政健全化に努めてまいります。各会計の決算概要をお知らせします。

一般会計の決算状況

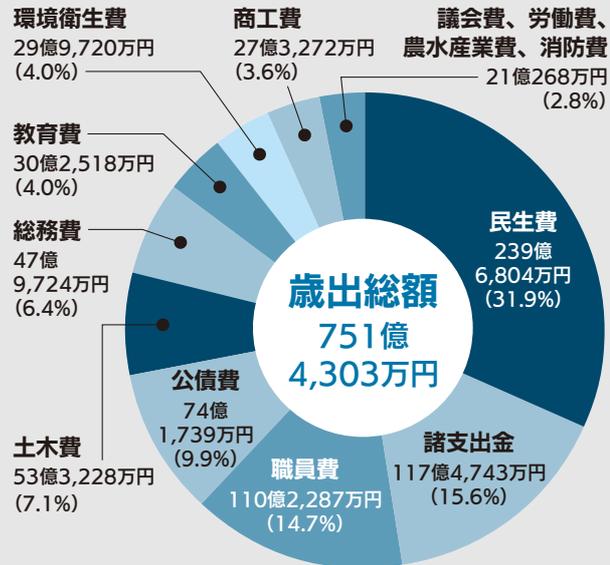
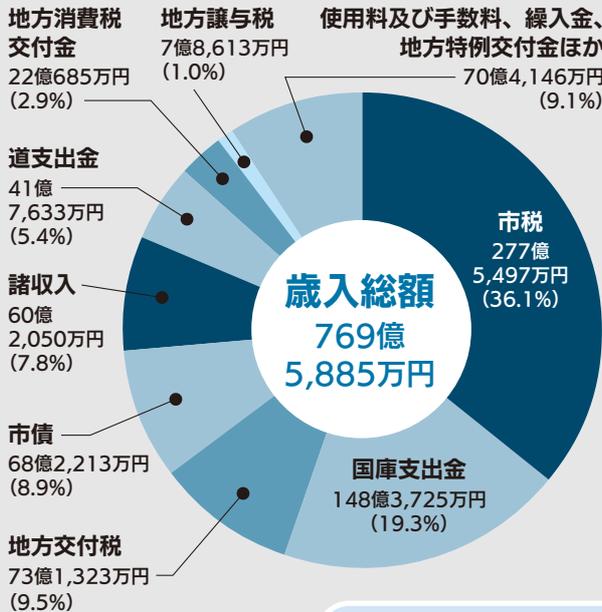
一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は769億5,885万円で、前年度に比べ24億2,360万円（3.3%）増加しました。歳出（年度中の支出）の総額は751億4,303万円で、前年度に比べ20億8,622万円（2.9%）増加し、差引額18億1,582万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち地方交付税や諸収入などが減少したもの

の、歳入の根幹である市税が7億5,415万円（2.8%）増となったことや、繰越金が8億5,055万円（135.5%）増となったことによります。

歳出のうち、臨時事業費は総額190億8,790万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、日新町市営住宅建設や学校改修事業、緊急雇用創出事業などを実施しました。また、毎年度経常的にかかる経費については、扶助費が増加しました。



市民1人当たりの決算額

■市税負担額 **159,842円** (4,561円増加)

■使われた経費 **432,752円** (12,605円増加)

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 117,943円 (3,956円増加)
- 人件費 [職員の給与などに] 59,342円 (12,243円増加)
- 公債費 [借入金の返済に] 42,717円 (2,083円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに] 46,039円 (225円増加)

※金額は一般会計の決算額を平成27年3月31日現在人口173,640人で割ったもの（ ）は対前年比